

民生委員・児童委員だより

かつしか



発行
葛飾区民生委員児童委員協議会
葛飾区福祉部福祉管理課 内

発行人 小林 隆猛

編集 広報部会

〒124-8555

葛飾区立石 5-13-1

Tel. 5654-8244 (直通)

第 **38** 号

新しい任期を迎えて（小林会長）、役員紹介、委嘱状伝達式、一日民生委員・児童委員、
民生委員児童委員PRパネル展、コールエレガントコンサート、永年勤続単位民生委員児童委員協議会
表彰（杉浦会長職務代理）、民生委員小地域福祉活動：青戸地区・東立石地区・堀切地区・
立石地区・四つ木地区・亀有地区、広報部会編集後記

時代は今、急速な少子高齢化と本格的な人口減少社会の真っ只中にあります。生活様式の多様化や単身世帯の増加により、かつては当たり前だった向こう三軒両隣のつながりも希薄になりつつあります。加えて、混迷する世界情勢や物価高騰は、特に支援を必要とする方々の家計を圧迫し、孤立を深める要因となっています。

葛飾区民生委員児童委員協議会会長として4期目を務めさせていただくと同時に、今期は、東京都民生児童委員連合会の役員改選におきまして、葛飾区からは初となる会長の重責を合わせて担うこととなりました。



新しい任期を迎えて

葛飾区民生委員
児童委員協議会 会長
小林 隆猛
(青戸地区会長)
(東京都 民生児童委員連合会 会長)

また、大規模地震や大型台風による水害への備えは、低地帯である葛飾区にとって、避けては通れない課題です。災害時に必要なことは、平時からの「顔の見える関係づくり」に勝る対策はありません。

民生委員児童委員信条には、「隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます」とあります。隣人愛という言葉は、葛飾に住む私たちにあって、非常に馴染み深い言葉に思えてなりません。お節介と言われるほどに相手を思いやり、困った時はお互い様と支え合う。地域にある社会資源を有効に活用し、行政や関係機関との「架け橋」となって、確実な支援へとつなげていく。活動の現場には、数値や報告書だけでは推し量れない多大なるご苦労があると言えましょう。委員一人ひとりの日々の尊い献身的な努力に対し、心より敬意を表します。

日々の見守りや戸別訪問、何気ない会話からの情報収集、そして迅速な連絡調整。一つひとつの積み重ねが、支援の必要な地域に住む住民の光となり、子供たちの笑顔を守る力になります。その「目に見えない活動」こそが、葛飾区の良きであり、特徴であると確信しております。

私たちが住む町が、「住んでいて良かった」とだれもが思える場所であり続けるよう、委員の皆様と心を一つにし、誰もが安心して暮らせる

令和7年12月8日に、テクノプラザかつしかで委嘱状伝達式が行われました。

委嘱状伝達式



市村 静子
会長職務代理(新宿)



杉浦 健
会長職務代理(柴又)



澤目 和子
会計(立石)



橋本 文枝
会計監査(高砂)



石井 玲子
会計監査(奥戸)



澤目 和子
会計(立石)



地域づくりのために、活動を進めてまいりましょう。

民生委員・児童委員の日 活動強化週間の催し

モンチッチ
一日民生委員・児童委員

今年のイベントのひとつとして、令和8年5月14日に、新小岩駅北口広場にて、民生委員・児童委員の有志が啓発グッズの配布を行い、日々地域で活動していることをアピールしました。配布したティッシュには、「みんなで作ろう地域のつながり 支え合い」と「地域の“わ” 思いやりあなたと」のスローガンが印刷されており、我々の思いを伝えました。

今年は葛飾区が誇る人気キャラクターのモンチッチに一日民生委員・児童委員を委嘱し一緒に活動してもらったことでイベントの盛り上げに役が果たしてもらいました。

実際モンチッチが登場すると会場から歓声があがり、モンチッチと握手したり、記念撮影をしたりす



小林会長より委嘱状伝達

る方もいて、みんな笑顔、笑顔になりました。

また、通りがかりに小林会長に相談される方もおられ、地域に寄り添う民生委員・児童委員活動の大切さを改めて実感しました。

(滝田 節子)

民生委員・児童委員
PRパネル展

葛飾区民生委員児童委員協議会では、活動強化週間のイベントとしてパネル展を区役所区民ホールにて行いました。展示期間は令和8年5月11日～15日で、民生委員・児童委員の立場や活動に関することをまとめた5枚のパネルが展示されました。

特に重要なことは、民生委員・児童委員は次の3つの基本事項

- 1 秘密を守る
 - 2 公平な立場で対応
 - 3 無償の奉仕を行う
- を守って行動するので、区民にとつ

て一番身近な相談相手であるということです。

パネルを見て民生委員・児童委員のことを理解して、私もやってみようという方がたくさん増えてくれることを願っています。(滝田 節子)

♪コールエレガント
ミニコンサート

民生委員・児童委員の有志からなるコーラスグループ「コールエレガント」が、「民生委員・児童委員の日」の記念イベントとして、令和8年5月12日に区民ホールでミニコンサートを開催しました。

小林会長のあいさつを皮きりに、オープニングに民生委員・児童委員の歌である「花咲く郷土」、続いて「葛飾区歌」が披露されました。ホールに歌声が響くと区役所に来庁された方や区職員が足を止めて口ずさんでいました。「スマイルアゲイン」と「ビリーブ」は歌唱に

手話を付けたパフォーマンスが心に沁みました。最後に介護予防の支援体操を「青い山脈」の歌声に合わせ

てみんなでを行い、客席でも沢山の方が楽しそうに身体を動かしておられました。

間近で聴く歌声は本当に素晴らしいものでした。

(滝田 節子)

民生委員・児童委員の歌
「花咲く郷土」歌詞永年勤続単位民生委員
児童委員協議会表彰

葛飾区民生委員児童委員協議会

会長職務代理 杉浦 健

令和7年12月1日に一斉改選で再任させていただき、8期目となりました。

平成13年に自治会役員より民生委員・児童委員への推薦の話がありました。10年目で訓練・行事への参加が多く、両方の活動は無理だと考えていました。当時は民生委員・



民生委員・児童委員
イメージキャラクター
ミンジー



児童委員の活動内容も把握していなかったため、不安が募りました。しかし、同じボランティア活動で目的も担当区域も居住地に含まれており、同じ地域住民としてできることがあればと考え、民生委員の活動をはじめました。

民生委員・児童委員は担当区域での相談に対応しますが、新任当時は名簿連絡先等が統一されておらず、相談者の状況が把握できなかったため、混乱することがありました。その後は担当区域の高齢者一人暮らしのマップ作成等同じ地区の委員ごとに資料を作成して、その後の訪問活動に活用しました。

住民の相談は、内容により民生委員・児童委員として処理手続きできるか確認して進め、相談が重複・複雑な案件は、区役所・高齢者総合相談センター・社会福祉協議会等に情報提供を行い、対応してきました。

今後も、葛飾区民生委員児童委員協議会の活動計画に沿って活動することを目指してまいります。

青戸地区

歌って動いて ♪イキイキ笑顔！



青戸地区の「アイリスほほえみの会」は令和8年2月2日に青戸地区センターでの福祉活動イベント♪音とからだのハーモニー♪を開催しました。

メインイベントは、講師である吉田寛子先生の「みんなで歌おう」ですが、身体・顔・口・指・頭の体操から始まり、歌はもちろん、歌に合わせて簡単な振付や手話を教えて頂きました。

何回も歌って体を動かしているうちにどんどん楽しくなり、地域のつながりを再確認する事ができました。こうして予定した1時間30分がアツという間に過ぎました。84名の参加者から「楽しい時間を過ごすことで良かった」と感想を頂けました。

私たちの活動も15年が過ぎまし

民生委員・児童委員と関わりがある小地域福祉活動

た。長く地域に根差した活動が出来るのも葛飾区社会福祉協議会の担当者、青戸地区まちづくり懇談会と高齢者総合相談センター青戸の皆様、さらにイベントに参加して下さった方々の協力のおかげです。これからも地域の皆様とともに安全で安心できる町づくりに取り組んでまいります。

(千野 裕子)

東立石地区

★東立石さくらまつり

令和8年4月12日、第33回「東立石さくらまつり」が、かわばたコミュニティ通りを会場に開催されました。

東立石地区の民生委員・児童委員も「さとざくら会」のメンバーとして模擬店を出店し、皆様とともに「さくらまつり」を盛り上げました。

「さとざくら会」とは東立石地区の小地域福祉活動委員会の愛称で、民生委員・児童委員はこの活動をを通じて、地域の皆さんとの交流を深



めています。今年で33回目を迎え、今やこの地域の重要なイベントとなっており、婦人会による葛飾防災音頭のパレードに始まり、和太鼓やアマチュアバンドの演奏、中学生のダンスパフォーマンスなど多彩な演目が披露され、青木葛飾区長も来場し、挨拶をされました。

八重桜が咲き誇る会場には、子どもからお年寄りまでたくさんの方々が来場し楽しんでおられました。そんな中で我々民生委員・児童委員のブースではジュースなどの飲み物を提供し大盛況でした。皆様からいただいた義援金は、社会福祉協議会に寄付いたしました。

(重原 研二)

堀切地区

みんなで楽しむ音楽とフラダンスでつながる輪

令和8年2月14日、堀切地区センターにて、第6回花菖蒲ふれあい会が開催されました。当日は天候にも恵まれ約150名が来場され会場は熱気に包まれました。

第1部は「日本音楽療法学会認定音楽療法士」井田絵衣子講師による脳トレや口腔体操を交えながら懐かしい曲をピアノの演奏で楽しく歌いました。

第2部では「フラサークル え・あろは・すぴりっつ」の心のこもった優雅なフラが披露され可愛らしい

お子さんダンサーには目を細め、踊り方も教えて頂きみんなで一緒に踊り、会場には笑顔があふれました。

音楽とフラダンスで声を出し身体を動かし、まさに「心と身体を癒した時間でした」と感想を頂き、世代を超えた多くの方々が笑顔でつながり地域の絆をより一層深める貴重な機会となりました。

今後も皆さまに喜ばれる企画を続けてまいります。(平賀 由紀枝)



立石地区

立石ふれあい落語会

令和8年2月23日シニア活動センターにおいて「小地域福祉活動立石」が主催で、高齢者の孤立解消や地域住民のコミュニティの活性化を図ることを目的に、「立石ふれあい落語会」が開催されました。

入船亭扇橋師匠は、江戸落語の伝統を継承しつつ、みずみずしい感性で観客を魅了する噺家です。

出囃子で登壇した扇橋師匠を拍手

で迎え、巧みな語り口に会場の空気は江戸時代の世界へ引き込まれました。軽妙な枕から始まり、本編では登場人物が生き生きとした様子が浮かび、笑い声が起きました。

高齢者総合相談センターのスタッフによる体操で体を動かした後に、もう一席、皆さんに楽しんでいただきました。

開始前から開場を待つ方も多く、終了後も高齢者総合相談センターの職員や民生委員・児童委員に質問される方もおり、コミュニティの活性化に役立てたと思います。(ローガン 由美)



四つ木地区

歌声喫茶のついで

四つ木地区小地域福祉活動の一環として、令和8年6月1日に「歌声でみんなに広がる共感集いましょう」と題して四つ木地区センターで、第42回歌声喫茶を開催しました。

当日は約100名の地域住民の皆さまが集い、まずはボイストレーナーによる丁寧な発声練習で心と

体をほぐしました。

続く本番で

は、思い出のメロディーなど全

16曲を1時間30分ほどかけて全員で熱唱。

休憩時間も含め、終始温かな

交流が行われました。歌声を通

じてお互いの共感を育む、大切な地域福祉の場となりました。

開催を支えてくださった民生委員・児童委員、葛飾区社会福祉協議会をはじめ、関係者の皆さまのご協力に深く感謝いたします。(天羽 英司)



亀有地区

花と緑で広がる

地域の輪！

きれいな花壇をきっかけに、街に広がる温かい絆

亀有地区の民生委員・児童委員らで構成される「亀有花風船の会」は、日頃から亀有駅南口の花壇を美しく整え、花を通じた地域福祉活動に取り組んでいます。

同会は、葛飾区で開催された「みどり」と花のフェアかつしかに協賛し、令和8年5月17日、23日、31日の3日間、駅前花壇を舞台に

した特別イベントを行いました。

期間中は、メンバーが大切に育てた花で作ったドライフラワーや折り鶴、風船を来場者へプレゼントしました。

美しい花壇をきっかけに自然と会話が生まれ、メンバーと地域住民の心をつなぐ、素晴らしい交流の機会となりました。(相澤 茂)



編集後記

新たに編成された20名の広報部員は広報活動の経験が無いので「すったもんだ」しながら葛飾区内の活動の取材・原稿作成を行いました。

「民生委員・児童委員だより」は、区民や関係機関に民生委員・児童委員の活動を知ってもらうために発行しており、分かりやすい広報誌を作るよう努力いたします。(編集長 上原 務)

民生委員・児童委員
葛飾区公式サイト

